

当面の経済動向と日本経済の課題

東京大学大学院教授 伊藤元重

- *アベノミクスで何が起きているのか
- *期待感の高さが失望を生む
- *需要増を後押しする政策が重要
- *エネルギー価格低下の効果は大きい
- *マイナスの実質金利は何を意味するか
- *企業はおカネを使わざるを得ない
- *想像以上の円安になっている
- *気掛かりなICTの立ち遅れ
- *生産年齢人口の減少が加速化
- *改革は前に動き始めている



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は、この会ではおなじみの伊藤元重先生に来ていただきました。何年前ですか、ここではないのですが、リーマンショックの割に直後に先生のお話を伺ったときに、皆さんはあまり信じないかもしれないけれども、アメリカは復活するよというお話を理路整然とされたことがあります。まさしくそうだったと思います。世の中には流れに乗ってお話をする方が多いのですが、今日はこれからどうなっていくのかについて、本当に理にかなったお話が伺えると思います。それでは、伊藤先生、よろしくお願いたします。（拍手）

伊藤 伊藤でございます。時々ここでお話をさせていたいただいて、私も頭の整理をさせていた

だいているところです。今日は失言とか、そういうことをあまり気にしないでお話ししますので、もし何かおかしなことがあってもご容赦いただけます。

アベノミクスで何が起きているのか

個人的なことですけれども、たまたまこの数カ月にかなり海外を回っておりまして、香港²回、ロンドン、上海、北京、ニューヨークと、アベノミクスを中心にいろんなところでお話をしてきました。海外の人に今何が起きているのかということを理解していただくために、私もいろいろ考えて、何かキーワードがないかなというところで、アベノミクス・ステージ²というキャッチフレーズで行くことにしました。あま